



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日

上場会社名 株式会社フェイスネットワーク 上場取引所 東  
コード番号 3489 URL <https://faithnetwork.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 蜂谷 二郎  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 石丸 洋介 (TEL) 03(6432)9937  
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,149	—	△546	—	△661	—	△470	—
2023年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 △468百万円(—%) 2023年3月期第2四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△47.67	—
2023年3月期第2四半期	—	—

(注) 2024年3月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年3月期第2四半期数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	26,639	6,017	22.6
2023年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 6,017百万円 2023年3月期 —百万円

(注) 2024年3月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年3月期の数値については記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	84.00	84.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	71.00	71.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期については、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	—	3,300	—	3,000	—	2,000	—	202.77

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 業績予想については、本日(2023年11月14日)公表いたしました「連結決算への移行に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照下さい。

3. 当社は2023年3月期において連結財務諸表を作成していないため、対前期増減率を記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	9,960,000株	2023年3月期	9,960,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	87,224株	2023年3月期	102,636株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	9,863,432株	2023年3月期2Q	9,918,743株

(注)2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

なお、当社は、2023年7月14日付で株式会社岩本組の全株式を取得したことに伴い、当第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しております。よって、前年同四半期との比較は行っておりません。また、みなし取得日を当第2四半期連結会計期間末日としているため、当第2四半期連結会計期間においては貸借対照表のみ連結しており、同社の業績は含まれておりません。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境が改善する中で、緩やかな回復基調で推移しました。一方で国際情勢の不安（地政学リスクの高まり）や円安の進行、物価の上昇などが続いており、先行きは依然として不透明な状況が続くことが見込まれます。

当社グループが属する不動産業界におきましては、2023年度上半期(4～9月)の首都圏マンションの供給戸数は前年同期から4.6%減の11,712戸となりました。平均価格は23.7%上昇の7,836万円、平米単価は24.0%上昇の118.9万円となり、価格上昇が継続する状況となりました（(株)不動産経済研究所調べ）。

コロナ禍が一段落した現状においても、安定した収益が見込める東京のレジデンス向け賃貸不動産への投資需要は引き続き旺盛であると捉えております。

このような状況の中、当社グループは城南3区を中心に新築一棟RCマンション「GranDuo」シリーズ及び高級レジデンス「THE GRANDUO」シリーズの企画開発を推進するとともに、子会社化した岩本組とのシナジー創出に向けた取り組みを進めるなど、事業基盤の強化に積極的に取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,149,196千円、営業損失546,088千円、経常損失661,503千円、親会社株主に帰属する四半期純損失470,229千円となりました。

なお、当社グループの経営成績は不動産業の特性上、下半期に売下高・利益が大きくなる傾向にあります。今期は特にその傾向が顕著になっております。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ①不動産投資支援事業

不動産投資支援事業につきましては、建築商品5件を販売いたしました。売上高は2,764,824千円、セグメント損失は595,421千円となりました。

#### ②不動産マネジメント事業

不動産マネジメント事業につきましては、売上高は384,371千円、セグメント利益は49,332千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間における総資産は、26,639,185千円となりました。主な内訳は現金及び預金3,198,278千円、仕掛販売用不動産が14,211,381千円、有形固定資産が2,042,521千円であります。

負債合計は、20,621,926千円となりました。主な内訳は、借入金16,844,916千円、工事未払金が1,570,650千円、前受金が648,354千円、未成工事受入金が518,854千円であります。

また、純資産は、6,017,259千円となりました。主な内訳は、資本金681,120千円、資本剰余金641,599千円、利益剰余金4,755,967千円であります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、3,198,278千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりです。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果支出した資金は、7,259,348千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失を661,503千円計上、棚卸資産が6,650,819千円増加、前受金が775,065千円減少、営業出資金が823,000千円減少、完成工事未収入金が742,923千円減少、法人税等の支払を620,655千円行ったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、631,439千円となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出を501,000千円行ったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、6,704,508千円となりました。これは主に、長期借入金による収入が4,755,064千円及び短期借入金の純増額が2,460,500千円あった一方、配当金の支払を413,826千円行ったこと等によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間において株式会社岩本組を子会社化したことに伴い、本日(2023年11月14日)付で通期の連結業績予想を公表いたしました。詳細は「連結決算への移行に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	3,198,278
完成工事未収入金	1,837,542
販売用不動産	2,268,510
仕掛販売用不動産	14,211,381
前渡金	225,909
営業出資金	531,964
その他	315,110
流動資産合計	22,588,697
固定資産	
有形固定資産	
建物	969,699
構築物	15,124
機械及び装置	101,514
車両運搬具	36,748
工具、器具及び備品	60,334
土地	1,236,128
減価償却累計額	△377,029
有形固定資産合計	2,042,521
無形固定資産	
のれん	782,187
その他	41,732
無形固定資産合計	823,919
投資その他の資産	1,184,047
固定資産合計	4,050,488
資産合計	26,639,185
<b>負債の部</b>	
流動負債	
工事未払金	1,570,650
短期借入金	3,009,000
1年内返済予定の長期借入金	3,415,971
1年内償還予定の社債	108,000
未払金	86,451
未払法人税等	4,789
前受金	648,354
未成工事受入金	518,854
預り金	315,824
賞与引当金	132,643
アフターコスト引当金	22,179
工事損失引当金	32,567
その他	77,401
流動負債合計	9,942,686
固定負債	
社債	131,000
長期借入金	10,419,944
その他	128,295
固定負債合計	10,679,240
負債合計	20,621,926

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間  
(2023年9月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	681,120
資本剰余金	641,599
利益剰余金	4,755,967
自己株式	△60,089
株主資本合計	6,018,598
その他の包括利益累計額	
繰延ヘッジ損益	△1,339
その他の包括利益累計額合計	△1,339
純資産合計	6,017,259
負債純資産合計	26,639,185

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	3,149,196
売上原価	2,630,097
売上総利益	519,099
販売費及び一般管理費	1,065,187
営業損失(△)	△546,088
営業外収益	
株主優待引当金戻入額	2,017
その他	556
営業外収益合計	2,574
営業外費用	
支払利息	98,364
支払手数料	8,886
登録免許税	4,249
その他	6,487
営業外費用合計	117,988
経常損失(△)	△661,503
税金等調整前四半期純損失(△)	△661,503
法人税、住民税及び事業税	1,145
法人税等調整額	△192,418
法人税等合計	△191,273
四半期純損失(△)	△470,229
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△470,229



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△470,229
その他の包括利益	
繰延ヘッジ損益	1,322
その他の包括利益合計	1,322
四半期包括利益	△468,906
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△468,906

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純損失(△)	△661,503
減価償却費	32,714
株式報酬費用	10,346
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,689
アフターコスト引当金の増減額(△は減少)	△145
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△34,004
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△7,733
支払利息	98,364
支払手数料	8,886
完成工事未収入金の増減額(△は増加)	742,923
棚卸資産の増減額(△は増加)	△6,650,819
前渡金の増減額(△は増加)	△54,307
工事未払金の増減額(△は減少)	85,355
未成工事受入金の増減額(△は減少)	35,000
前受金の増減額(△は減少)	△775,065
営業出資金の増減額(△は増加)	823,000
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△155,754
その他	△59,425
小計	△6,551,477
利息及び配当金の受取額	80
利息の支払額	△87,296
法人税等の支払額	△620,655
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,259,348
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△7,779
無形固定資産の取得による支出	△15,049
関係会社貸付金の回収による収入	20,000
投資有価証券の取得による支出	△501,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△121,180
その他	△6,429
投資活動によるキャッシュ・フロー	△631,439
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,460,500
長期借入れによる収入	4,755,064
長期借入金の返済による支出	△148,054
社債の発行による収入	100,000
社債の償還による支出	△37,000
配当金の支払額	△413,826
その他	△12,174
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,704,508
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,186,278
現金及び現金同等物の期首残高	4,384,557
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,198,278

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計 (注)
	不動産投資支援事業	不動産マネジメント事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,764,824	384,371	3,149,196
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—
計	2,764,824	384,371	3,149,196
セグメント利益又は損失 (△)	△595,421	49,332	△546,088

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

不動産投資支援事業において、当第2四半期連結会計期間に株式会社岩本組の株式の全部を取得しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては、782,187千円であります。

## (企業結合等関係)

## (取得による企業結合)

## 1. 企業結合の概要

## (1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社岩本組  
事業の内容 建築工事の施工及び設計

## (2) 企業結合を行った主な理由

デザインの再現性が高く、高品質なRC造の物件を数多く手掛ける岩本組を当社の子会社とすることで、中期経営計画に掲げる「高級レジデンスの開発」及び「ワンストップサービス体制の充実による経営基盤の強化」に繋げることができるとともに、当社の持続的な成長と企業価値の向上が実現できると判断いたしました。

## (3) 企業結合日

2023年7月14日(支配獲得日)  
2023年9月30日(みなし取得日)

## (4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

## (5) 結合後企業の名称

変更はありません。

## (6) 取得した議決権比率

100%

## (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として、株式を取得したことによるものであります。

## 2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

当第2四半期連結累計期間においては貸借対照表のみを連結しており、当第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書には被取得企業の業績は含まれておりません。

## 3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得対価	現金	680,000	千円
取得原価		680,000	千円

## 4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 6,800千円

## 5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

## (1) 発生したのれん金額

782,187千円

## (2) 発生原因

主として今後の事業展開により期待される超過収益力であります。

## (3) 償却方法及び償却期間

7年間にわたる均等償却